

令和6年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

学校番号 22 学校名 大垣南高等学校

|                             |  |   |             |   |             |  |             |   |             |  |
|-----------------------------|--|---|-------------|---|-------------|--|-------------|---|-------------|--|
| <p>学校教育目標<br/>(教育方針)</p>    | <p>生徒一人ひとりの知・徳・体の調和のとれた人格形成を目指し、豊かな人間性と健全な心身を育み、自らの可能性を追求し地域社会に貢献できる生徒を育成する。</p>   |   |             |   |             |  |             |   |             |  |
|                             | <p>どんな生徒を<br/>育てたいか<br/>【GP】</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確かな学力を身に付け、よりよく課題を解決する思考力・判断力・行動力をもち、自立して主体的に行動することができる生徒</li> <li>・ 豊かな情操と規範意識をもち、自己効力感が高く、他者を思いやり地域や社会に積極的に貢献しようとする心に富んだ生徒</li> <li>・ 健康維持や体力づくりに努め、自他の生命を尊重し、たくましく生きる力を身に付けた生徒</li> </ul>   |             |   |             |  |             |   |             |  |
| <p>3つの方針<br/>(スクールポリシー)</p> | <p>生徒をどう<br/>育てるか<br/>【CP】</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題発見力・課題解決力を育成するための「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」を推進と、ICT等を活用したコミュニケーション能力と発信力の養成</li> <li>・ 生徒一人ひとりの個性や長所を伸ばすためのカリキュラムの編成と、個に応じた細やかな指導による自己効力感の伸長</li> <li>・ 勉強と部活動を両立させ心身ともに健康で人を思いやる豊かな人間性の涵養</li> </ul>   |             |   |             |  |             |   |             |  |
|                             | <p>どんな生徒を<br/>待っているか<br/>【AP】</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学進学を目指し、多様な学びに主体的に取り組み、自らの可能性に挑戦したいという意欲のある生徒</li> <li>・ 向上心をもち、部活動や生徒会活動に積極的に参加し、他者と協働してよりよい学校や社会を築いていこうという意欲のある生徒</li> </ul>  |             |   |             |  |             |   |             |  |
| <p>学校の抱える課題</p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低学年時から生徒の家庭学習の習慣が付いておらず、家庭での学習時間の確保ができていない。</li> <li>・ 生徒の学力が多層化しており、明確な進路目標を設定できない生徒が増加している。</li> <li>・ 規範意識やモラル、生活におけるさまざまな危険を認識していない生徒が増加している。</li> <li>・ 学習と部活動や課外活動等を両立できない生徒が増加している。</li> </ul> |   |             |   |             |  |             |   |             |  |
| <p>教育指導の重点</p>              | <p>領域・分野</p>   | <p>今年度の具体的な重点目標</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="277 1209 427 1265"> <p>学習指導</p> </td> <td data-bbox="427 1209 2136 1265"> <p>授業改善やICTの活用等を通して、深い学びができる授業の実現に努め、生徒が自ら学ぶ姿勢の育成を図る。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 1265 427 1321"> <p>進路指導</p> </td> <td data-bbox="427 1265 2136 1321"> <p>低学年次より基礎力の養成を図るとともに、生徒が自分の将来の進路について真剣に考え、明確な目標を設定し、その達成に向けて取り組めるよう支援する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 1321 427 1377"> <p>生徒指導</p> </td> <td data-bbox="427 1321 2136 1377"> <p>生徒の規範意識を育成し、社会の一員としての責任や義務を自覚させ、学校生活全般を通して人間性豊かな人間形成を図る。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="277 1377 427 1433"> <p>特別活動</p> </td> <td data-bbox="427 1377 2136 1433"> <p>学習と部活動の両立を目指しつつ、さらに外部との連携や資源の活用等による課外活動の充実を通して、豊かな人間性を涵養する。</p> </td> </tr> </table> | <p>学習指導</p> | <p>授業改善やICTの活用等を通して、深い学びができる授業の実現に努め、生徒が自ら学ぶ姿勢の育成を図る。</p> | <p>進路指導</p> | <p>低学年次より基礎力の養成を図るとともに、生徒が自分の将来の進路について真剣に考え、明確な目標を設定し、その達成に向けて取り組めるよう支援する。</p> | <p>生徒指導</p> | <p>生徒の規範意識を育成し、社会の一員としての責任や義務を自覚させ、学校生活全般を通して人間性豊かな人間形成を図る。</p> | <p>特別活動</p> | <p>学習と部活動の両立を目指しつつ、さらに外部との連携や資源の活用等による課外活動の充実を通して、豊かな人間性を涵養する。</p> |
| <p>学習指導</p>                 | <p>授業改善やICTの活用等を通して、深い学びができる授業の実現に努め、生徒が自ら学ぶ姿勢の育成を図る。</p>  |   |             |   |             |  |             |   |             |  |
| <p>進路指導</p>                 | <p>低学年次より基礎力の養成を図るとともに、生徒が自分の将来の進路について真剣に考え、明確な目標を設定し、その達成に向けて取り組めるよう支援する。</p>   |   |             |   |             |  |             |   |             |  |
| <p>生徒指導</p>                 | <p>生徒の規範意識を育成し、社会の一員としての責任や義務を自覚させ、学校生活全般を通して人間性豊かな人間形成を図る。</p>  |   |             |   |             |  |             |   |             |  |
| <p>特別活動</p>                 | <p>学習と部活動の両立を目指しつつ、さらに外部との連携や資源の活用等による課外活動の充実を通して、豊かな人間性を涵養する。</p>   |   |             |   |             |  |             |   |             |  |

| 年度目標 |  |                 |                     |
|------|--|-----------------|---------------------|
| 領域分野 | 3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な具体的な取組・方策                                     | 県教育振興基本計画での位置付け | 達成度の判断・判断基準あるいは評価指標 |
| 学習指導 | 家庭学習の充実を図り、自学自習の習慣を身に付けさせる。  | 8               | 施策Ⅱ-8               |
|      | 主体的・対話的で深い学びが実現できるように授業改善を進める。                                     | 8               | 施策Ⅱ-8               |
|      | 教職員の学び合いや協働を大切に、校内研修の活性化を推進する。                                     | 26              | 施策Ⅳ-26              |
|      | ICTの活用を推進する。   | 9               | 施策Ⅱ-9               |
| 進路指導 | 個々の生徒の学力やニーズに応じた多様な補習や各種講座の充実を図り、進路実現に必要な力を身に付けさせる。                | 8               | 施策Ⅱ-8               |
|      | ICTを積極的に活用して生徒一人ひとりの学力に合わせた学習支援を行い、低学年次から基礎力の定着と応用力の伸長を図る。         | 8               | 施策Ⅱ-8               |
|      | 自分の将来について考え、明確な進路目標を持って取り組めるように、探究活動やインターンシップを通してキャリア教育の充実を図る。     | 13              | 施策Ⅱ-13              |
|      | 進路講話や保護者進路研修会などを通して、適切な時機に情報提供を行い、生徒の学ぶ意欲や保護者の意識を高め、主体的な進路選択へと繋げる。 | 7               | 施策Ⅰ-7               |
| 生徒指導 | 交通安全啓発活動を通して生徒自身の交通マナーに対する意識を向上させる。                                | 1               | 施策Ⅰ-1               |
|      | 定期的な身なりやマナー指導の実施を通して身だしなみの重要性を呼び掛ける。                               | 1               | 施策Ⅰ-1               |
|      | 外部との連携により規範意識やモラルの向上を図る。   | 1               | 施策Ⅰ-1               |
|      | 生徒に関する職員間での情報共有を密にして、個々の生徒の状況に応じて適切に支援する。                          | 3               | 施策Ⅰ-3               |
| 特別活動 | 個々の生徒の生活状況を把握し、適正な部活動の運営を図って学習と両立させる。                              | 25              | 施策Ⅳ-25              |
|      | 南高祭を中心とした生徒会活動を、生徒が主体となって活性化させる。                                   | 1               | 施策Ⅰ-1               |
|      | ボランティア活動への参加を促進し、地域社会への貢献をより多く経験させる。                               | 1               | 施策Ⅰ-1               |
|      | 外部と連携した企画に積極的に参加して、多様な学びを体験させる。                                    | 4               | 施策Ⅰ-4               |

| 年度末評価(自己評価)   |                  |   |                    |
|---|------------------|---|--------------------|
| 取組状況・実践内容<br>評価項目の達成状況等   | 評価<br>A. B. C. D | 成果と課題   | 総合評価<br>A. B. C. D |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴジガク(居残り学習会)や家庭学習調査を実施し、生徒に家庭で学習する習慣を身に付けさせる取組を行った。</li> <li>・ICTを活用した授業改善を推進した。生徒からのアンケート結果では、「ICT機器を有効に活用した授業が行われている」の項目において高評価が7%の増加であった。</li> <li>・校内研修においては、授業改善だけでなく、様々なテーマで研修を実施した。</li> </ul>                                 | B                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習を定着させる取組は一定の成果が得られた。生徒同士の相互刺激にもつながった。</li> <li>▲ICT活用について、積極的に教員研修を実施して活用を推進できたが、ICTを活用しつつ生徒とより効果的な関わり方を模索することと、教員の負担軽減とのバランスをどのようにしていくかが課題である。</li> </ul>  | B                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒対象進路講話は各学年次2回、保護者進路研修会は各学年次1回実施し、適切な時機に必要な情報提供を行うことができた。</li> <li>・低学年次では基礎標準補習を中心に、3年次では各教科の新課程共通テスト対策補習、対策教材の精選、岐阜大学特講、外部講師による各種講座の実施等、生徒の進路実現に向けて対策の充実を図ることができた。</li> <li>・各種職業講座を行い、探究活動と関連を持たせ、充実したキャリア教育を行うことができた。</li> </ul> | B                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒のニーズに応じた各種講座の充実、キャリア教育の充実、適切な情報提供について、実施状況や事後アンケートより一定の成果を得ることができた。</li> <li>▲ICTを活用した学習支援について、利活用の促進を図り、活用状況も活発になったが、生徒の基礎学力や模試結果の向上に繋げるところまでには至っていない。今年度の実施内容を検証し、結果の向上にどのように繋げるかが課題である。</li> </ul> |                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・MSリーダーズ活動で生徒と共に啓発活動を行った。また危険箇所の巡回を実施した。</li> <li>・定期的な身だしなみ指導を実施した。教員間での協力により授業前や場面指導を行った。</li> <li>・警察との合同で啓発運動を実施した。</li> <li>・定期的な情報共有をすることで、個々の生徒の特徴や支援方法を共有することができた。</li> </ul>  | B                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○MSリーダーズ活動で生徒と共に有効な活動を行った。</li> <li>○身だしなみについて全校生徒、職員ともに機会を捉えて整えることができた。</li> <li>○外部組織の協力により規範意識が高まった。</li> <li>○教職員がチームとして生徒を支援することができた。</li> </ul>  |                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動に各学年75%以上、全校では78%の生徒が加入し、多くの生徒が継続している。</li> <li>・南高祭を今年度より2日間の開催とし、多くの企画が昨年度よりも充実した。球技大会も昨年度の反省を生かして改善した。</li> <li>・通学路清掃等の校内企画のボランティア活動では有志参加が昨年度より増加した。</li> <li>・生徒会の生徒が外部講師を招聘してリーダー研修や最寄り駅の清掃活動を実施した。</li> </ul>              | B                | <ul style="list-style-type: none"> <li>▲部活動加入率は学年次が下がるほど加入率が低下している。低学年次生に部活離れの傾向が見られる。</li> <li>○南高祭をはじめ各生徒会行事を生徒が主体となって盛り上げることができた。</li> <li>○生徒会、家庭クラブ、交流福祉委員が中心となり様々な地域活動に取り組めた。▲外部企画のボランティア活動への参加者が少ないので、紹介と啓発に努める。</li> </ul>              |                    |

### 来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年1月24日

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用を進めていく中で、教育効果の維持と教員の負担軽減のバランスを探りながら、今後もより効果的な活用方法を模索する。また、ICT活用についての研修も引き続き実施し、教員への情報共有やICT活用推進をより一層図る。</li> <li>・平日補習の開講曜日を増やし、週3回の補習日を設定することで、低学年次の国英数における基礎力をさらに定着させるとともに、3年次生の共通テスト科目「情報」の対策を充実させる。</li> <li>・日々の授業や家庭学習、ICTを活用した個別学習等に、生徒がより主体的に取り組むようにするために、「生徒の自走化」を意識した進路支援を行う。個々の課題の意義を理解し、自ら考え主体的に取り組む姿勢を育むために、①キャリア教育や進路探究活動の充実、②スモールステップによる成功体験の積み重ね、③自らの成長を実感できる振り返りの機会の設定等を進める。</li> <li>・生徒指導における職員間の共通認識をより一層図り、全職員が足並みをそろえて生徒を指導する。</li> <li>・地域に愛される高校となるように、集会等の機会を捉えてモラル意識の向上を図る。</li> <li>・低学年次生に対して、3年次生や卒業生の部活動継続の好例を紹介する等により、生徒の自己実現や進路の開拓における部活動の意義を教示し、部活動の活発化を図る。</li> <li>・外部企画のボランティア活動を生徒に案内する際に、教室等への掲示に加えて、生徒の進路選択に応じてHR担任等から個別に声掛けをして、企画の周知と参加の促進を図る。</li> </ul> |
|--|

### 学校関係者評価

実施日：令和7年2月7日

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学校として自ら学ぶ生徒の育成に教員集団が一丸となって取り組んでいる。ICTや外部資源の活用、授業時間外での指導等により、きめ細かい学習指導がなされている。</li> <li>・制服や運動靴の改定は生徒会を中心とした生徒による主体的な取組として進められていくことが大事である。生徒会活動の活発化は生徒のやる気の表れである。</li> <li>・生徒はマナーを守り規範を尊重して他者に迷惑を掛けない生活ができています。</li> <li>・学生サポーターの導入や各種特別講座、ミニ教育実習等、生徒の進学意欲を向上させ進路目標を達成できる工夫が見られる。</li> <li>・部活動の加入者数が減少していることは残念である。生徒には学習活動以外でこの時期にしかできない経験をしてもらいたい。</li> <li>・本校の方から積極的に地域と交流する取組は重要であり、ふるさとの理解につながる。</li> <li>・近隣の普通科の高等学校に対して本校の立ち位置を特徴付けるのは難しいが、中学生や保護者の立場から見た本校の魅力を検討すると良い。</li> <li>・外部の資源の活用は効果があるが、依存によって本校の職員の資質が低下しないように配慮が必要である。</li> <li>・生徒に自信を付けさせて自己効力感を高める取組を行い、最終的には生徒が自走できるようにしていきたい。</li> </ul> |
|---|